

ぎかいの杜

CONTENTS

3月定例会の審議……………P2～3
常任委員会審査報告……………P4～5
所管事務調査報告……………P5
会派代表質問……………P6～7
一般質問……………P8～11
第1回臨時会……………P12
議会のうごき……………P14

NO.82 令和6年5月1日号

3月定例会などの内容をお伝えします。



149年間

前田小学校ありがとう ～ 令和6年3月21日 前田小学校閉校式 ～

明治8年に創立して以来、8,939人の卒業生を輩出し、
長きにわたり地域の学校として親しまれてきた前田小学校が
149年の歴史に幕を下ろしました。



3月定例会最終日の様子は
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



起立採決（議案第29号 令和6年度北秋田市一般会計予算）

令和6年度一般会計当初予算は 236億688万6000円

主な令和6年度予算	予算額
路線バスフリーパス助成金	5,873千円
大館能代空港利用促進事業補助金	43,500千円
高齢者等日常生活支援事業	5,500千円
きたあきた赤ちゃん応援事業	9,962千円
地球温暖化対策事業	10,385千円
森林環境譲与税事業	140,118千円
自然環境を核とした賑わい拠点整備事業	20,680千円
森吉山国立・国定公園化推進事業	1,874千円
阿仁分署建設事業	204,282千円
消防指令システム情報更新事業	96,296千円
市有スクールバス運行管理委託	65,048千円
公民館Wi-Fi環境整備事業	3,028千円
義務教育学校「阿仁学園」改修事業	176,628千円

令和6年 3月定例会

令和6年北秋田市議会3月定例会は、2月28日から3月14日までの16日間の会期で行われました。今定例会では、条例案14件、補正予算案13件、当初予算案19件、単行議案2件、報告1件のほか、最終日には人事案件2件の追加提案や議員発議による条例案などが提案され、いずれも原案のとおり可決及び同意としました。また、陳情3件については、2件を趣旨採択、1件を不採択としました。

3月定例会の主な議事

- 北秋田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市産業振興促進条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市大野台ハイランド憩の森条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市阿仁異人館条例及び北秋田市郷土文化保存伝承館条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 令和5年度一般会計補正予算
- 令和5年度各特別会計補正予算
- 令和5年度病院事業会計補正予算
- 令和6年度一般会計予算
- 令和6年度各特別会計予算
- 令和6年度各事業会計予算
- 北秋田市過疎地域持続的発展計画の変更について
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- 北秋田市教育委員会委員の任命について
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 北秋田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議案名	採決結果	清明会					新創会			日本共産党議員団			公明党	無会派				
		小笠原 寿	永井 昌孝	佐々木 正史	松橋 久敏	堀部 壽	中嶋 洋子	長崎 克彦	佐藤 文信	虻川 敬	杉淵 一弘	佐藤 重光	板垣 淳	三浦 倫美	久留嶋 範子	福田 牧子	福岡 由巳	五代儀 義富
※議長は採決には加わりません。																		
議案第11号 北秋田市大野台ハイランド憩の森条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第29号 令和6年度北秋田市一般会計予算	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○
議案第45号 令和6年度北秋田市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○
議案第47号 令和6年度北秋田市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○
陳情第27号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	趣旨採択	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
陳情第28号 公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情	趣旨採択	●	●	●	●	—	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
陳情第29号 「あきたこまち」の「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情書	不採択	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	▼	●

賛成・反対討論

▼議案第11号

反対討論 福岡 由巳 議員

憩の森一帯を整備せず放棄地にしてきた結果、展望台や東屋等ほとんど朽ちている。この責任は当局にあり、それを解体・撤去費用として7千万円近い市民の血税を浪費しようとするのは許されない。

▼議案第29号

反対討論 板垣 淳 議員

下水道料金値上げに続き、今度は学校給食費の値上げ。相次ぐ公的料金の値上げは認められない。県内の多くの市町村が給食費を無料や半額にしているのに、値上げは子育て支援に水を差す。

賛成討論 永井 昌孝 議員

農林業の将来を見据えたスマート化、観光振興、DXの推進や地球温暖化対策などの施策が含まれる。熊被害対策へも柔軟に対応された予算。当市の優位性を生かす将来を見据えた施策となっている。

反対討論 福岡 由巳 議員

市民病院負担金9億8千万円は異常な増額である。これは減価償却費相当額等が収入となるはずを免除していることや指定管理料の在り方に問題があり、即刻、基本協定を改正すべきであり認められない。

▼議案第45号

反対討論 三浦 倫美 議員

地域になくはならない市民病院。経営改善への厚生連と市との踏み込んだ意見交換、一体となった経営努力が尽くされておらず、市からの負担金10億近くまで際限なく増加する現状は容認できない。

反対討論 福岡 由巳 議員

市民病院の常勤医師等の増員は切実である。救急患者を多く治療できるように圏域外流出患者を少なくするなど成し遂げなければ、繰入金9億8千万円は天井知らずになる恐れがあり認められない。

▼議案第47号

反対討論 久留嶋 範子 議員

昨年12月の条例改正では、物価高に苦しむ市民に寄り添うならば、今、値上げすべきでない。6千万円の使用料増額見込みは市財政から出せない額ではないと反対した。よって本議案にも反対する。

反対討論 福岡 由巳 議員

公共下水道工事は間もなく終了する予定から、それまでは一般会計からの繰り入れを貫くべき。諸物価高騰の折、公共料金引き上げは慎重に、引き上げる際は市民が納得する徴収の仕方があるはず。

▼陳情第27号

賛成討論 永井 昌孝 議員

地方経済、人口減少対策に有効。最低賃金全国一律は日本全体の経済バランスを崩しかねなく、慎重な判断が必要。最低賃金1500円はアルバイトや初任給から適用が必要になり経営への影響が大きい。

▼陳情第28号

反対討論 福田 牧子 議員

最低賃金法等の労働法上、独占禁止法上、地方自治法上の問題がある。本市はダンピング受注や低価格入札の状況ではなく、趣旨採択に反対。

賛成討論 板垣 淳 議員

市は「民間でできることは民間で」ということを進めてきたが、そのことで労働者の賃金も公的サービスも低下した。この陳情は、働く人も地域経済も良くすることを目的としたものなので賛成。

▼陳情第29号

賛成討論 久留嶋 範子 議員

「あきたこまちR」の生産そのものに反対ではないが、県議会へも5800件を超える声が届き、多くの懸念や不安の声がある。消費者や生産者の想いに応えるならば、全面切り替え方式は見直すべき。

反対討論 松橋 久敏 議員

将来を見据え、カドミウムの基準値がより厳しくなっても、安全な米の生産・供給ができるようにするため、「あきたこまち」から「あきたこまちR」への切り替えは必要である。

総務文教常任委員会 当初予算に付帯意見を付すことに

【委員長】小笠原 寿 【副委員長】五代儀義富 【委員】福田牧子／堀部 壽／板垣 淳／佐藤文信

当委員会に付託された案件は、条例案3件、予算案17件、単行議案2件、陳情1件の計23件でした。

令和6年度一般会計予算の総務部の審査では、ふるさと納税寄附金の会計処理について、委員から「他市でも実施しているように、基金に繰り出して翌年度に活用すべきでは」との質疑に、当局からは「各市町村、様々な仕方があり、本市のように分野型のところが大部分で多いわけだが、寄附者の意向に沿った形の使い方をいろいろ研究していきたい」との答弁がありました。

教育委員会の審査では、学校給食費について、委員から「今後、無償化される可能性はあるか」との質疑に、当局からは「今年度については市独自の施策として、食べ盛り子育て世帯生活応援事業を行っている。今後については、学校運営協議会を通じて様々な意見等を伺いながら、どうし

ていくべきかを考えたい」との答弁がありました。

また、阿仁学園の屋外運動場改修工事について、委員から「工事における授業等への支障はないか。完成はいつ頃か」との質疑に、当局からは「授業等は阿仁中学校で以前使用していたグラウンド等を活用しながら実施したい。国の補助金で整備することになるので、内示を受けてからの発注になり、11月の完成をめどに考えていきたい」との答弁がありました。

採決にあたり、反対の立場から「学校給食費の保護者負担となる値上げが提案されているため反対する」との討論があり、採決の結果、賛成多数で可決し、ふるさと納税の会計処理について付帯意見を付することとしました。その他の陳情以外の案件については全会一致で原案のとおり可決。陳情は賛成多数で趣旨採択すべきものと決しました。

(委員長 小笠原 寿)

市民福祉常任委員会 大阿仁へ放課後児童クラブ開設

【委員長】佐藤重光 【副委員長】三浦倫美 【委員】虻川 敬／佐々木正史／中嶋洋子

当委員会に付託された案件は、条例案4件、予算案16件の20件でした。

令和6年度一般会計予算の市民生活部の審査では、大阿仁出張所の対応時間変更について、委員から「4月から大阿仁出張所2階に放課後児童クラブが設置されるが、児童クラブの開設時間に職員が不在となる時間があるというところか」との質疑があり、当局からは「出張所の窓口は午後1時までとなる。公民館としての貸し館利用もあるため、職員が不在となる1時から日直をシルバー人材センターに委託して常駐させる。貸し館の受付、施設内の安全、電話対応は全て日直が対応する」との答弁がありました。

市消防本部の審査では、委員から「工事請負費2億9468万1千円のうち阿仁分署建設1億9611万円、継続費と今年度2億398万9千円が記載された違いは」との質疑があり、当局からは「こ

の総額は6年度、7年度分トータルした総額で、工事費と委託料を合算した金額」との答弁がありました。

令和5年度一般会計補正予算の医療健康課の審査では、委員から「市民病院指定管理料の増額について、増額に至らないような動きはどのようになされているのか」との質疑があり、当局からは「経営分析業務委託にて、当該年度の指定管理料の妥当性と新年度の事業計画と指定管理料の精査を分析し、厚生連との経営戦略や全体計画との整合性を図りながら進めている」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、令和6年度一般会計予算及び令和6年度北秋田市病院事業会計予算の2件は賛成多数により可決。その他の案件については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 佐藤重光)

産業建設常任委員会

高精度測定システム基準局設置

【委員長】杉渕一弘 【副委員長】松橋久敏 【委員】永井昌孝／福岡由巳／久留嶋範子／長崎克彦

当委員会に付託された案件は、条例案7件、予算案4件、陳情2件の計13件でした。

大野台ハイランド憩の森条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「ハイランド体育館について解体するのとこのだが、住民への説明もほとんどない。使い物にならないから解体するという今回の提案は問題と思う」との質疑に、当局からは「ハイランド体育館については個別施設計画で廃止の方向付けがされている。また、アスベストが使われており、使うのは問題がある」との答弁がありました。

令和5年度一般会計補正予算の建設課の審査では、委員から「除雪費に関して、今年度は降雪が少なかつたが、どのように予算を調整していくのか」との質疑に、当局からは「委託業者に対しては、既定の回数に満たない場合、補償という形で補填がある」との答弁がありました。令和6年度一般会計予算の農林課の審査では、委員から「高精度測定システム基準局設置委託について供用開始時期はいつ

か」との質疑に、当局からは「4月早々に契約の手続きを行い、春作業に間に合わせたい」との答弁がありました。また、他の委員から「市民は今年も熊が多く出没するのを心配している。市では出没予想をどう見ているか」との質疑に、当局からは「県が想定していた県内に生息する熊の数4400頭に対し、約2000頭を捕獲したとの数字が正しいものであれば、かなり数は減っていると感じている」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、大野台ハイランド憩の森条例の一部を改正する条例の制定について及び令和6年度一般会計予算並びに令和6年度下水道事業会計予算の3件は賛成多数により可決。その他の陳情以外の案件については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。2件の陳情については、最低賃金法の改正等による陳情は賛成多数により趣旨採択、あきたこまちRへの全面切り替え計画に関する陳情は賛成少数で不採択すべきものと決しました。

（委員長 杉渕一弘）



閉会中の所管事務調査報告（抜粋）

総務文教常任委員会

1月19日に『空き校舎の利活用状況について』として、旧鷹巣中央小学校と旧鷹巣南小学校の調査を実施しました。

不要になった事務用机、楽器類、体育用具、テントや農作業用具等が保管されている旧中央小は、引き続き廃校プロジェクトを活用して全国に向けた募集を続け、収納品の有効活用を目指すとしており、また、旧鷹巣南小には、9500箱に及ぶ森吉山ダム建設時の出土品や考古遺物、2000冊の古文書公文書、旧鷹巣農林高校農林博物館の民具などが保管されており、今後は一般公開に向けて検討していきたいとのことでありました。

（文責者：副委員長 五代儀義富）

市民福祉常任委員会

1月10日に『放課後児童クラブについて』の調査を実施しました。

清鷹小児童クラブは、令和2年度建築、運営は令和3年度から社会福祉協議会へ委託し、職員8名のうち支援員が7名との説明がありました。委員から「支援員増員の見通しは」との質疑があり、「子供の人数も見極め、人員確保に努めたい」との答弁がありました。

大阿仁地区児童クラブは、阿仁学園前期課程が始まることを踏まえ、令和6年度より農村改善センター2階の青年研修室に必要な備品等設置し、市直営で運営を開始。会計年度任用職員6名のうち支援員は2名との説明を受けました。

（文責者：副委員長 三浦倫美）

産業建設常任委員会

2月8日に水道事業と下水道事業について調査しました。

水道事業の課題は、施設の経年劣化に対応した更新、人口減少による水需要の減少等であると説明がありました。委員から「将来的な負担を軽減する対策は」との質疑に、当局からは「施設の統合により維持費削減を行っていく」との答弁がありました。

下水道事業の課題については、公共下水道における未普及区の整備促進と未加入世帯への加入促進、農業集落排水（合川地区）における今後の処理場の整備方針や不明水の原因究明と対策等であるとの説明がありました。

（文責者：副委員長 松橋久敏）

※高精度測定システム

衛星から送られる測位情報の誤差を地上に設置する基準局で補正することで、高精度に位置計測するシステム

新創会



佐藤 文信



ふるさと納税の
基金による活用を

Q ふるさと納税による寄附金は
確実な財源ではないので、基金
に積んで振興計画の中から必要
な施策に活用する考えは。

A 基金積立により予算額を確実
に見込めることや大きなプロ
ジェクトへの活用も可能となる。
一方、寄附者において、自身の
寄附金がどの事業に活用された
か分かりづらい等もあり、今後
研究していく。

Q 財源を有効活用し、市債の繰
上償還による将来負担軽減への
取組について。

A メリットは地方債現在高の減
少と利子負担の軽減が図られる。
令和4年度決算ベースで比較す
ると、将来負担比率は42・1%
から36・7%に、実質公債費率
は8・3%から7・9%に減少。



二次医療圏による市民病院

Q 県北全域が1つの地域単位と
する二次医療圏による市民病院
の医療環境への影響は。

A 市民病院の医療機能や規模の
変更は予定していない。

Q 滞留型観光振興におけるホテ
ル建設についての見解は。

A 滞留型観光の推進と地域経済
にとって重要。観光やビジネス
の環境が大きく変化しているこ
とから今定例会の北秋田産業振
興促進条例に宿泊施設を追加提
案予定。

Q 地域経済の循環について、返
礼品のギフトカタログを市内で
活用する仕組みを作ることにっ
いて。

A 地元商品活用の仕組みづくり
に向けて取り組んでいく。

清明会



小笠原 寿



市制施行20周年
記念事業計画内容は

Q 北秋田市制施行20周年記念事
業の計画内容は。

A 主なものとして、記念式典を
11月に挙行し、関連事業として、
NHK公開ラジオ番組や総合ス
ポーツイベントを開催する予定。
Q 津谷市長にとって就任4期目
の最終年度となる今年の目玉の
事業は何と捉えているか。

A すべからず取り組んでいくが、
全ての市民がデジタル化の恩恵
を受けられるよう、DX事業を
より一層推進していく。

Q 施政方針で宿泊施設の誘致に
ついて記述され、産業振興促進
条例にホテルを追加する改正案
を今定例会に提出している。既
に動きがあるのか。

A 現在のところ、具体的な構想
や動きといったものはないが、



林道の路網整備で効率化を

宿泊施設の誘致には前向きに取
り組み情報収集にあたる。関心
を示す事業者があれば適宜情報
提供していく。

Q 林業専用道等の路網整備に併
せ、持続性のある林業経営を実
現させるため、既設林道の縦断
勾配の緩和や直線部の拡張など、
大型車両や高性能林業機械が安
全に通行できる林道を増やす必
要があるのでは。

A 林業専用道5路線の整備を行
うほか、森林環境譲与税を活用
した路網整備を予定している。
森林整備を拡大させ効率化を図
り、広大な森林を活かしたカー
ボンニュートラルの実現を目指
す。

市政を問う！ 一般質問

一般質問は、3月4日・5日の2日間で行われ、7人の議員が登壇しました。

五代儀 義富 議員 (P 8)

- ◆熊対策について

佐藤 重光 議員 (P 9)

- ◆ふるさと納税返礼品の取り扱いについて
- ◆熊対策について

三浦 倫美 議員 (P 9)

- ◆災害対策について

久留嶋 範子 議員 (P 10)

- ◆保育園留学の取り組みについて
- ◆市民の声を市政に反映させるために
- ◆各公民館へのエアコン設置を

福岡 由巳 議員 (P 10)

- ◆北秋田市防災計画の現状について
- ◆人口減少対策について
- ◆北秋田市民病院の医師等確保と医療の充実について
- ◆森吉山荘を早期再開することについて
- ◆熊対策について

福田 牧子 議員 (P 11)

- ◆感染症予防について
- ◆地域防災対策について

板垣 淳 議員 (P 11)

- ◆市民病院の分娩廃止方針について
- ◆ジェンダー平等について
- ◆LGBTQの方への理解を深めるために

※QRコードから一般質問の映像がご覧いただけます

五代儀 義富 議員

(無会派)



熊出現！その時 市民にどう知らせる

Q 昨年、全国で最も多かった当市の熊被害について、有害駆除に当たる要員や捕獲用オリの確保など、この春以降の対策はどうか。

A 有害駆除に当たる「鳥獣被害対策実施隊」は総勢120名で活動しており、捕獲用のオリは現有数51基だが、新年度からは13基プラスの64基体制での対応となる。

Q 昨年、配備と発表された麻醉銃の活用法はどうか。

A 現在は配備に向けた準備の段階であり、北秋田地域振興局職員が担当するものと聞いている。現状ではオリに入った熊のみ使用しているが、周囲の状況が許せばオリに入っていない熊にも使用が可能なものと考えている。

Q 被害の防止には出沒予測や出沒

時の警戒情報の迅速な周知徹底が大事と思うが周知方法は。

A 県が予定しているマップシステムやヤフー・ジャパンアプリ、緊急速報メール等、多様な情報発信ツールにより情報提供に努めていきたいと考えている。

Q 前回、熊被害は自然災害ではないとして見舞金等の対応はないとの答弁であったが、その後の状況を鑑みて再考すべきではないか。

A 今後、指定管理鳥獣にツキノワグマが指定される予定であり、全国では野生動物による被害に対して見舞金を支給している例があることから、被害者に対する応急的支援を目的とした制度の創設実現に向けて検討してゆく。



熊にドアを壊されたJA秋田たかのす本店ビル (写真=秋北新聞社提供)

佐藤 重光 議員

(新創会)



熊出没対策に ドローンの活用を

Q ふるさと納税寄附額や件数、返礼品の取り扱い状況は。返礼品の不適正表示はないか。

A 令和5年度ふるさと納税については、昨年12月までの集計で、寄附額が13億8691万3500円、寄附件数は3万4037件、ふるさと納税への返礼品として登録されているものは3677品目で、68事業者となっている。不適正表示などの問題は発生していないが、2023年産米の生育不良に起因して一部に米の大きさや色合いなどの問題が発生したが、事業者と状況を確認し、代品発送等の対応を行っている。

Q 市独自の「熊出没マップ」を作成しては。

A 県の「マップシステム」を活用し、

市民や通学、通勤者への周知を図っていききたい。同システムの運用開始までは市独自の出没マップを作成し、市ホームページで情報発信していく。

Q 熊の監視などでドローンを活用できないか。

A 農業用のドローンについては、目的や使用場所の制限があるため、鳥獣被害対策としての活用は難しいものと理解しているが、近赤外線カメラを搭載したドローンによる行動状況把握など、今後、最新技術を活用した取組の可能性は広がっていくと考えており、県と連携しながら有効的な活用について研究していきたい。



返礼品の中でも高い割合を占めるお米の定期便

三浦 倫美 議員

(日本共産党議員団)



能登半島地震 被災地への支援策は

Q 能登半島地震、被災地支援策は。

A 総務省の応急対策職員派遣制度に基づく秋田県からの要請により、職員1名を新潟県へ派遣し、1月23日から6日間、罹災証明書発行のための家屋被害認定調査に従事。今後も応援職員派遣や物資等の支援要請に応じ、最大限対応する。

Q 各地の災害からの教訓は。

A 昨年度、自動ラップ式簡易トイレ50台、屋根付きテント50張整備。令和6年度は県と共同で冬期防災訓練を開催予定。防寒やトイレ、プライバシー対策などを課題に避難所運営の長期化対策強化を図る。道路の寸断等、孤立集落の救出活動の対策も関係機関と協議する。

Q 自治体間の相互支援体制強化を。

A 秋田県、県内各市町村、県外6

市町と災害時相互援助協定を締結している。定時的な連絡調整や情報交換など連携強化を図っていく。

Q 被災自治体の受け入れ体制が困難な場合のサポート体制構築を。

A 国や県、市長会、町村会が情報交換し、調整や要請を行っている。

Q 緊急時に庁内各部署間の相互支援協力体制が円滑に進むよう、日常業務でも互いに支援を求めやすい、支援に入りやすい職場環境づくりが大切であり重視すべき。

A これまでも災害発生時は対応状況を検証し改善を図っている。通常業務においても、業務量が増大した場合に各部署間で協力し合える仕組みづくりに取り組んでいる。今後も働きやすい職場環境、円滑な協力体制構築に努めていく。



派遣職員は家屋被害認定調査に従事

久留嶋 範子 議員

(日本共産党議員団)



本年度開始の 保育園留学について

Q 保育園留学とは、子どもが保育園施設に通いながら家族で1〜2週間程度、地域に滞在し豊かな自然の中での暮らしを体験するプログラムである。2021年11月に北海道厚沢部町で募集が開始。現在全国38拠点で開設。県内では本市が先駆けて取り組み、初の受け入れを終え、今後の課題は何か。

A 昨年12月、2月とこれまで2組の家族に体験をいただいた。今年1月からはふるさと納税の返礼品から費用の一部を支払う仕組みを導入している。留学先保育園と宿泊先との移動手段の確保などの課題もあり、解決に向け取り組んでいきたい。

Q 市民意識調査の充実について。合併後、毎年行われているが、ま

だまだ旧町単位での課題も山積している。広く市民からの意見・要望を聞くべきでは。市民の声のポストを総合案内窓口を設置しては。
A 回答者の負担が少なく、回答しやすい内容にすることが必要で、市広報、ホームページ、SNSを活用したアンケートやQRコードの活用、市民の声ポストの設置など、通年で意見・要望を募集できる手法も検討したい。

Q 昨年の夏の猛暑で利用者からの要望が多い各公民館へのエアコン設置を早急に。

A 必要性は認識しており、22年度は綴子公民館ホールに設置した。24年度は坊沢公民館ホールと冷房が設置されていない公民館事務室に整備する。今後未設置の公民館へ順次整備していく。



全国に広がる保育園留学

福岡 由巳 議員

(無党派)



萩形ダム放流状況の 適切な情報提供を

Q 合川地区内の豪雨災害時の避難所は十分でない。質問し続けて欲しい。急ぐべきでないか。

A 災害の種類等に応じ、自治会館等を活用することについて、自治会と協議している。

Q 毎年のように小阿仁川氾濫が続き被害が相変わらずである。小阿仁川の築堤工事等は急ぐべきであり、市と上小阿仁村と共同で県への要望を更に強化すべきでないか。

A 地域住民の浸水被害に対する不安が一日も早く解消されるよう、各団体と連携しながら残り区間の早期整備を要望していく。

Q 小阿仁川河川が未整備であることから、災害時には近隣住民に対し、ダムの放流状況を適切に情報提供すべきでないか。

A ダムに関する情報は市ホームページからもリンク付けしている。防災ラジオなどでの適時適切な情報発信について現在、県と協議を進めている。

Q 萩形ダムの放流について、ダム規則や細則に従っての情報把握を迅速に行うべきと考えるが、現在どのようになされているか。

A 市も早い段階で情報を得たいため、現在、県と協議中で、AIの活用も含めて今後より正確に早く情報を得られるものと期待している。

Q 本来、黒字のはずの市民病院負担金予算が約10億円と天井知らずである。これを減額するためには常勤医師を増やして患者を増やすことではないか。

A この地域になくてはならない総合病院であり、医療充実のためにもしっかりと取り組んでまいりたい。



ダムグラフに適切な対処を

福田 牧子 議員

(公明党)



高齢者の感染予防と 平時の災害対策準備

Q RSウイルス感染症は、高齢者で肺炎リスクがインフルエンザと同様に高い。60歳以上を対象とするワクチンが開始となった。高齢者の健康を守り、医療費削減につながる公費助成の実施について。

A 感染予防及び自己負担軽減の観点から国や他市町村の動向を注視し検討する。

Q 地震大国の日本、平時に考える準備が必要。避難所のトイレ環境の悪化は、飲食を控える、健康障害、災害関連死に直結する。トイレトレーラー（車載トイレ）が全国で20基のうち16基が能登半島に搬入されている。各自治体で保有することで災害時の共助になる。購入の検討は。

A 情報収集、他分野の活用機会や

費用対効果の点から調査研究する。

Q 各避難所へ災害備蓄品の分散備蓄が必要。道路の遮断、搬送者の被災を想定した準備を。

A 避難場所等24箇所では、備蓄品以外の避難場所等については、備蓄品の管理、鍵の管理も含めて考える。

Q 避難行動要支援者の「個別避難計画」の進捗状況は。

A 計画策定終了者195名、作成拒否者92名、残り445名は年度末まで作成予定。

Q 福祉避難所との連携準備状況は。

A 市内24箇所の施設担当者との個別協議を実施、3月中に全施設の担当者が集合して協議の場を設ける。

Q 避難所管理者の事前研修や訓練をする必要があると考える。

A 避難訓練や避難所運営に関する訓練をする場面で自治会長・町内会長への意識づけをしていく。



避難所に備蓄している災害備蓄品

板垣 淳 議員

(日本共産党議員団)



市民病院の分べん 継続すべき

Q 市民病院の分べん廃止は断じて容認できない。出産できない地域に若い人が増えるわけがなく、少子化対策に逆行する。

A 出生数減少、助産師不足、麻酔科医不在により廃止せざるを得ない。

Q 反論する。22年度の北秋田市民の出産数は84人。うち市民病院の出産が33人。毎年ほぼ同じ割合であり、出生数減少よりも市民病院で取り込めていないのが問題。助産師も今年、急に定年退職になったわけではなく前からわかっていなかったこと。例えば、救命救急士がいらないので救急車を走らせないとはいえない。市のお金で職員を学校に行かせ国家資格を取らせる。そういう努力をしていないのが問

題。麻酔科医はこれまでも不在。今さら分べん廃止の理由にしないほしい。

A 分べん廃止は苦渋の決断であり、市外の病院で出産してもらおう体制づくりをする。

Q 市民病院には毎年7億円ほども負担してきたが、24年度は約10億円にまでふくらむ。医療は縮小、金は増加。踏んだりけったりだ。次にジェンダー平等について。選択的夫婦別姓の導入を国に要望すべきでは。

A 県や他市町村の動向を注視したい。

Q LGBTQについての今後の取組は。

A 今年度実施した講演会などの取組を継続していく。



分べん廃止を表明した北秋田市民病院

第1回臨時会

令和5年度 一般会計補正予算

1億3099万7000円を追加

第1回臨時会が2月6日に開催され、承認1件、条例案1件、補正予算案2件、報告1件の計5件について審議しました。

今臨時会に上程された補正予算には、住民税均等割のみ課税の世帯に対する1世帯あたり10万円の給付や、低所得の子育て世帯への加算として、住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯の世帯主と同一世帯となっている18歳以下の児童に対して1人当たり5万円を給付する低所得者世帯支援事業のほか、阿仁診療所の常勤医師採用に伴う関連予算等が提案されました。議案に対する質疑では、議員から常勤医師の採用に至った経緯や採用期間に関する質疑があり、審議の結果、いずれも原案のとおり承認及び可決としました。

《第1回臨時会の主な議事》

- ▷専決処分の承認を求めることについて
(令和5年度一般会計補正予算(第9号))
- ▷北秋田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- ▷令和5年度一般会計補正予算(第10号)
- ▷令和5年度阿仁診療所特別会計補正予算

第1回臨時会の様子はこちらのQRコードからご覧いただけます。



第1回 市議会全員協議会

- 第9期介護保険事業計画について
- 北秋田市民病院における産婦人科の診療方針について
- 阿仁分署建設事業について

第1回全員協議会が2月6日に開かれ、3つの案件について当局から説明があり協議が行われました。

—第9期介護保険事業計画について—

介護保険制度は3年1期と定められ、3年ごとに計画の見直し及び改正が行われています。第8期介護保険事業計画が令和5年度末で終了することに伴い、次期計画に向けた制度改正が行われ、その改正内容を踏まえて第9期介護保険事業計画期間内における介護保険料を算定したことで、その概要について説明がありました。

介護保険料基準月額額は財政調整基金の繰入により第8期と同額の据え置きとなりますが、所得段階別保険料は、これまで9段階であった所得段階を国が示す標準段階の13段階とすることで、所得が320万円以上の方は所得段階に応じてこれまでの保険料より増額することになります。

—北秋田市民病院における産婦人科の診療方針について—

北秋田市民病院の産婦人科における分娩の取り扱いについて、少子化の進展に伴う出生数の減少に連動して分娩取り扱い件数が減少していることや、成り手不足等により助産師の確保・育成が困難であること、助産師の不

足により安全・安心な診療体制の確保が困難なことなどの理由により、令和7年度から取り扱いを中止すると説明がありました。

こうしたことから、市では通院時の交通費や入院個室代などに活用できる「妊産婦さん応援助成金事業」や陣痛発来時など医療機関までタクシーで移動した際の費用を助成する「マタニティタクシー事業」など4つの支援策パッケージ(案)を用意し、身近で分娩できない妊産婦さんの身体的・経済的な負担を和らげ、安心して生み育てる環境の向上に取り組むとしています。

—阿仁分署建設事業について—

現在の阿仁分署は昭和48年に竣工し、今年で51年が経過。施設の老朽化が著しいため、北秋田市消防本部再編計画に沿って、現分署の隣に新たな分署の建設を進めており、その基本計画について平面図や立面図等により説明がありました。

新分署の外観は周辺施設との調和を図るため、レンガ調で仕上げる計画で、令和7年夏頃の供用開始を目指すとしています。



皆さまからの 請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	秋田県労働組合総連合 議長 越後屋 建一	※趣旨採択	—
公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 奥井 明子	※趣旨採択	—
「あきたこまち」の「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情書	「あきたこまちR」をみんなで考える会 代表 田口 則芳	不採択	—

※ 趣旨採択・・・採択には至らないものの趣旨には賛同できること。

請願・陳情の提出方法

市民の皆さんから議会に要望などを伝える手法として、「請願」や「陳情」の提出があります。

請願は市議会議員の紹介が必要ですが、陳情は必要ありません。

- ・ 請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所及び氏名、電話番号を記載し、請願者の押印をして提出してください。
- ・ 請願は1人以上の紹介議員が必要になりますので、紹介議員の署名または記名押印をしてもらい提出してください。
(紹介議員がいない場合は「陳情書」としての提出となります。)
- ・ 国や県などに意見書を提出する場合は意見書(案)を提出してください。また、意見書の提出先を記載してください。
- ・ 道路や区域に関する内容の場合は、簡単な地図(略図)を添付してください。
- ・ 定例会告示日の3日前(休日除く)まで提出してください。

パソコン

〔北秋田市ホームページ〕



操作① メニューをクリック



操作②
北秋田市議会
をクリック

操作③
市議会中継
をクリック

スマートフォン・タブレット

① QRコード読み取りアプリを起動して
下のQRコードを読み取る



生中継・録画映像
配信先QRコード

画面が切り替わりましたら、再生ボタン
を押してください。

〔議会中継のページへ〕



操作④ 再生をクリック
(本会議の生中継がご覧になれます)

本会議の生中継や録画映像が
スマートフォンやパソコンなどでご覧になれます

議会の動き

<1月16日～4月15日>

1月

- 17日・広報特別委員会
- 19日・総務文教常任委員会所管事務調査
- 26日・秋田県北部市議会連絡協議会情報交換会
- 30日・議会運営委員会

2月

- 1日・全国高速自動車道市議会協議会第50回定期総会
- 2日・県道矢坂糠沢線整備促進期成同盟会要望活動
- 5日・秋田県市議会議長会定例会
・令和6年北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合議会2月定例会
- 6日・第1回臨時会
・第1回全員協議会
・林業・林産業活性化推進議員連盟研修会
- 8日・産業建設常任委員会所管事務調査
・秋田県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会
- 11日・第46回北秋田市「建国記念の日」を祝う会
- 15日・議会運営委員会
- 16日・盛岡秋田道路・大曲鷹巣道路整備促進フォーラム
- 19日・議会運営委員会
- 24日・市長と語ろう！タウンミーティング
- 28日・3月定例会（初日）
・広報特別委員会
- 29日・本会議

3月

- 2日・北秋田市スポーツ賞表彰式
- 4日・本会議 一般質問①
・議会運営委員会
- 5日・本会議 一般質問②
- 6日～7日
・総務文教常任委員会
・市民福祉常任委員会
・産業建設常任委員会
- 14日・3月定例会（最終日）
・議会運営委員会
- 19日・秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟研修会
- 21日・前田小学校閉校式

4月

- 1日・定期人事異動辞令交付式
- 11日・広報特別委員会

広報特別委員会 2年間ありがとうございました。

いろいろな情報手段が氾濫する中であって、我々の手掛ける「紙の媒体」は、どのようにその役割を果たすのだろうか？「公報ではなく広報」とはどういう事だろうか？手探りの毎月毎月でありました。議会での様子や議員各自の思いを出来るだけ忠実に判り易く伝えたい。「思い」は少しでも形になったでしょうか？どうか次の編集担当者にバトンを繋げれば幸いです。ご愛読に感謝致します。



委員長 五代儀 義富

議会を傍聴してみませんか？

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧ください。

次の定例会は6月の予定です

- 各常任委員会の会場
- ▷総務文教（合川庁舎）
- ▷市民福祉（阿仁庁舎）
- ▷産業建設（森吉庁舎）



市議会へのご意見を募集しています

- 対象 市内在住又は通勤通学をしている方
- 方法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公表 ホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号 北秋田市議会事務局
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845



北秋田市議会

検索



<https://www.city.kitaakita.akita.jp/genre/shigikai>